

情報えひめ（財団からのお知らせ）【121号】

— 今回の目次 —

◎ イベント・募集情報等

- [1] WGSN セミナー 開催について
選ばれる場所の魅力
～世界の旅行者を魅了する試みと最新トラベルトレンド～

※ ちょっと「一服」③ ～話の彩りに～

— [イベント・募集情報] —

◆ [1] WGSN セミナー 開催について

選ばれる場所の魅力
～世界の旅行者を魅了する試みと最新トラベルトレンド～

インバウンドが注目されているなか、えひめ産業振興財団では、WGSN 浅沼氏を講師に迎えたセミナーを開催いたします。

● 内容

近年、世界の旅行者は12億人を超え、2030年には18億人となることが予想されています。その一方で、受入側が膨れ上がる観光客への応急処置的な対応に追われている状況も垣間見える状況です。また、旅行者の行く先は多様化しており、世界の各都市が競い合うような時代に突入している中、「旅行者に選ばれる場所にはどのような魅力があるのか?」、「訪れた彼らを魅了するにはどのような視点が必要なのか?」、「いまどのようなトレンドに注目が集まっているのか?」、「各地域のアイデンティティをどのような角度から見せ、世界からのお客さまの旅への期待と合致させるか?」

本セミナーを通して参加者と一緒に探っていきたいと思います。

*インバウンド (Inbound) / 外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。

● 講師

浅沼小優 氏

WGSN Limited / 日本及び、韓国担当ディレクター

<http://news.livedoor.com/article/detail/7356425/>

積水ハウス勤務後、米国シアトルにてインテリア・デザインとバイイングに従事。帰国後 LVMH グループ、ロエベ他にてマーチャンダイジング、マーケティングを担当。2010年より

WGSN 日本支局在籍。社会トレンドと消費、デザインとの連関について解説を行う。立教大学大学院修了、社会デザイン学 MBA。

*WGSN は 1998 年にロンドンで誕生。WGSN の提供するオンライントレンドサービスは世界で 600 社にご利用頂いています

<https://www.wgsn.com/jp/>

● 日時

平成29年12月14日(木) 13:30~

●場所

テクノプラザ愛媛 1階 テクノホール(松山市久米窪田町337-1)

<http://www.ehime-iinet.or.jp/zaidan/guidance/map/map1.htm>

●構成

第1部 「世界の関心事あれこれ+トラベルトレンド」

第2部 「日本の実例(伝統的なコミュニティの魅力の伝え方等)、お客様との意見交換」

懇親会 family dining NICO(参加料 1,000円)

*浅沼小優氏を囲んだ懇親会を開催いたします。セミナー会場では聞けない詳しい話など、自由にお聞きください。

<http://www.iab-j.com/nico/>

●対象者

旅行業、商品開発担当者、PR担当者、バイヤー、デザイナー、伝統産業従事者等

●参加人数

100名)

*応募数が定員になり次第締め切らせていただきます。

●応募方法

下記申込書に氏名・年齢・住所・連絡先・職業などを記入の上、FAXで申込み下さい。

(公財)えひめ産業振興財団

産業振興課 中矢・藤田

FAX: 089-960-1105

●締切

12月8日(金) 17:00まで(必着)

●詳細URL:

<http://www.ehime-iinet.or.jp/zaidan/newbusiness/sangyousinkou/wgsnpr.pdf>

●共催

伊藤忠ファッションシステム株式会社 / 公益財団法人えひめ産業振興財団

*株式会社リバースプロジェクトトレーディング

●問い合わせ先

(公財)えひめ産業振興財団 産業振興部 産業振興課

担当: 中矢・藤田

TEL 089-960-1201

◆ ※ ちょっと「一服」③ ~話の彩りに~

☆☆

私の部屋は障子をあけると手すりがあり、大きく肱川に面している。十返捨一九の時代でないにしても、正岡子規の紀行文には出てきそうなたたずまいである。

*司馬一行が大洲の油屋に泊まった際の感想

油屋...幕末からの老舗旅館で、平成24年に炉端焼きの飲食店に改装

(『街道をゆく』、⑭「南伊予・西土佐の道」p.59) [朝日文庫]

日本中の町が画一化してしまったこんにち、昔の町割りのまま道路のせまさを保っているというだけで、大洲は都市空間としての誇りをもっていいのではないか。

(『街道をゆく』、⑭「南伊予・西土佐の道」p.64) [朝日文庫]

昭和53年に南伊予・西土佐を取材した際に、大洲の街の風情について感嘆した文章である。現在も、改装された油屋の周辺は、江戸時代の町割りはそのままに、?(ろう)の商いで栄えた蔵がのこる「おはなはんどおり」をはじめ「おおず赤煉瓦(あかれんが)館」や「ポコペン横丁」など人目をひく施設がある。

私も昭和 56 年ごろ職場の親睦会で油屋に泊まった。社会人駆け出しの若僧が初めて生活の中にある伝統の重みや雰囲気を感じたことを懐かしく思い出す。

ただ、司馬は、昭和 30 年代のおわりごろにも大洲を訪れ、肱川とその沿岸にある大洲城址のコントラストに「その景観の美しさに息をわすれる思いをした」と述べたうえで、この取材のときには、その城址内に市民会館が建てられ、その景観を台無しにしているとして、大いに憤慨している。

司馬没後、木造建築で復元され肱川河畔にたたずむ大洲城天守閣を彼が目にしたれば、「よくやった」と大洲人の頑張りをほめてくれるのではないかと私はひそかに思っているが、どうでしょうか。

（（公財）えひめ産業振興財団専務理事 渡瀬賢治）

☆☆

財団専務理事の渡瀬です。先月から、私の愛読書『街道をゆく』（司馬遼太郎）を中心にした話を綴らせてもらいます。皆様方の話の彩りの一つになれば幸いです。

最後までご覧いただきありがとうございます。
このメールマガジンは、財団職員と名刺交換させていただいた方や「情報えひめ」を配信希望された方に毎月 1 回、配信させていただいております。

[配信登録・解除ご希望の方はこちら↓]
zaidanmm@ehime-iinet.or.jp までメールでお知らせください。

「
発行責任者：
公益財団法人えひめ産業振興財団 総務課
松山市久米窪田町 3 3 7 番地 1
Tel : 089-960-1100 Fax : 089-960-1105
http://www.ehime-iinet.or.jp/
」